

家庭学習のすすめ

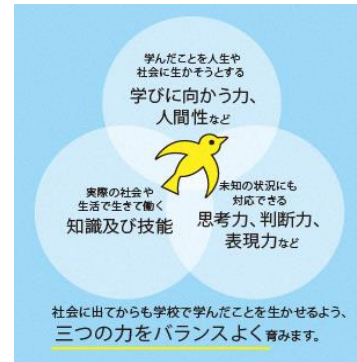
～「考える力」を育てるために家庭学習を充実させよう～

社会が変わる→学びが変わる

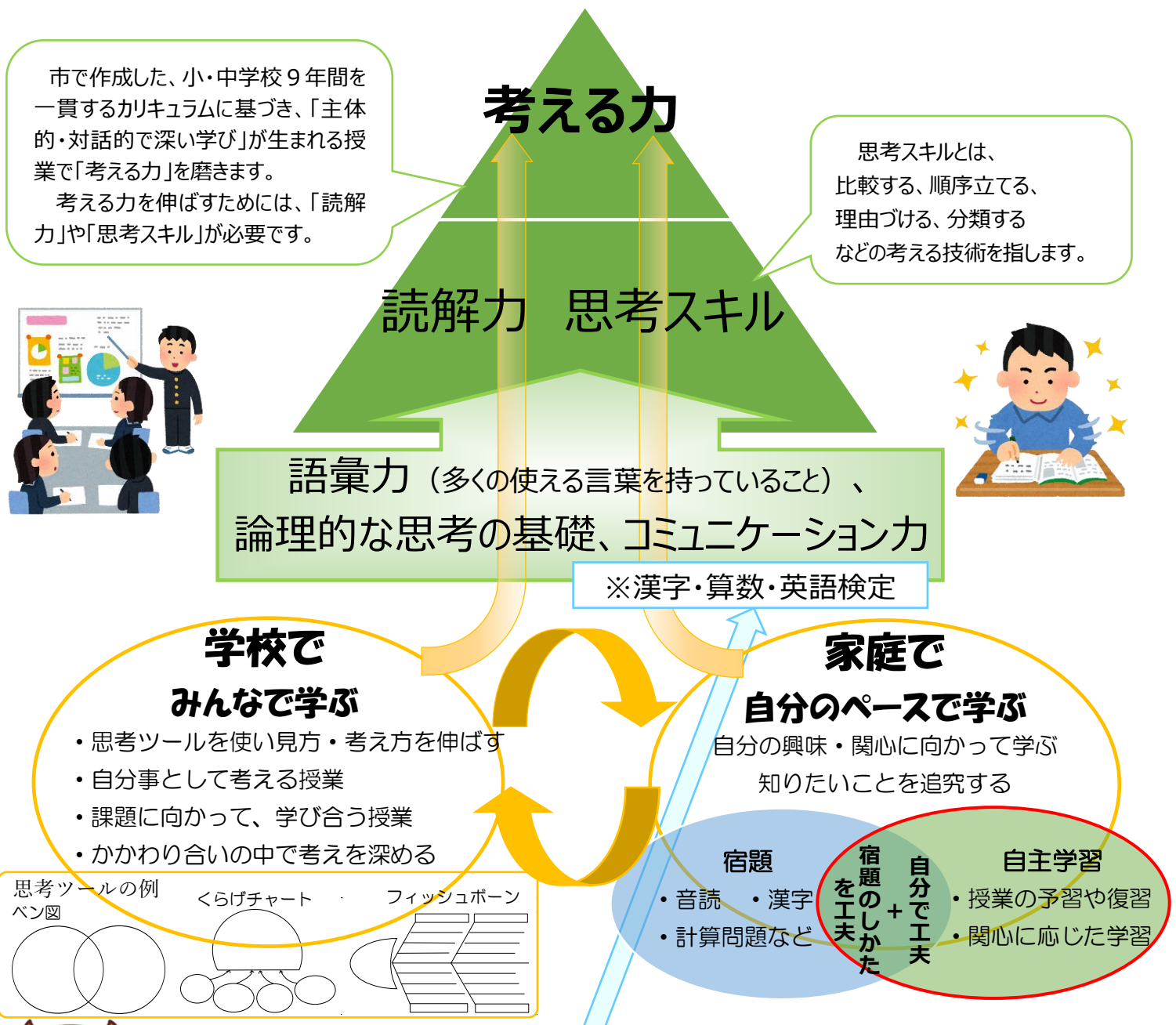
子どもたちが成人し自立して生きていく頃の社会は、AIの飛躍的な変化やグローバル化の進展などにより、予測困難な変化の激しい社会となります。現在の子ども世代の多くは、今は存在していない職業に就くとも言われており、それによって学びの質も変えていく必要があると言われています。そのような中で、それぞれが思い描く幸せを実現し、豊かな社会の作り手・担い手として活躍するには、学習指導要領が示す3つの力をバランスよく育んでいくことが求められます。

なぜ、家庭学習を充実させるの？

これからは、知識や技能をもっているだけでなく、それらを生きて働くものとしてどう使うかということが大切になると言われています。家庭学習では、指示された宿題を行うことに加え、今自分に必要な学習内容を考え工夫して取り組むことで、学びに向かう力をはじめ、実際の社会や生活で生きて働く知識や技能、考える力や表現する力を高めることができます。



「育てたい三つの力」
文部科学省HPより



考える力のベースに「語彙力」や「論理的な思考の基礎」、「コミュニケーション力」があると考え、本市では、小学校3～5年生全員を対象とした漢字検定と算数検定を実施します。また、希望者を対象とした英検チャレンジも引き続き行います。検定をきっかけの一つにし、子どもたちが自分の目標に向かって学んでいけたらよいです。



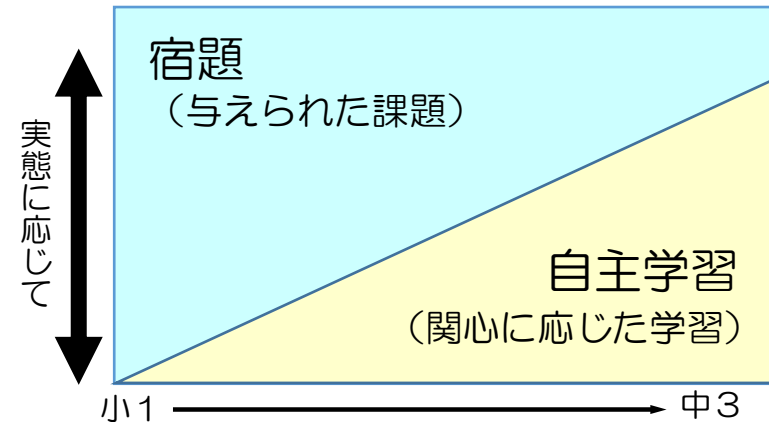
工夫しよう、力をつけよう、家庭学習

家庭学習で育てたい力

家庭学習は、基礎学力の向上はもちろん、自分の興味・関心に応じて学ぶことにより「学びに向かう力」も育っていきます。

家庭学習の中で主体的な学びとなる「自主学習」について例を示しました。

学年に応じた家庭学習の取り組み方



学年が上がるにつれ、自主学習の割合や質が向上していきます。

「宿題（与えられた課題」と「自主学習」のバランスは、各学校において調整します。

取り組む内容の参考に

○家庭学習レシピ（小学生向き）

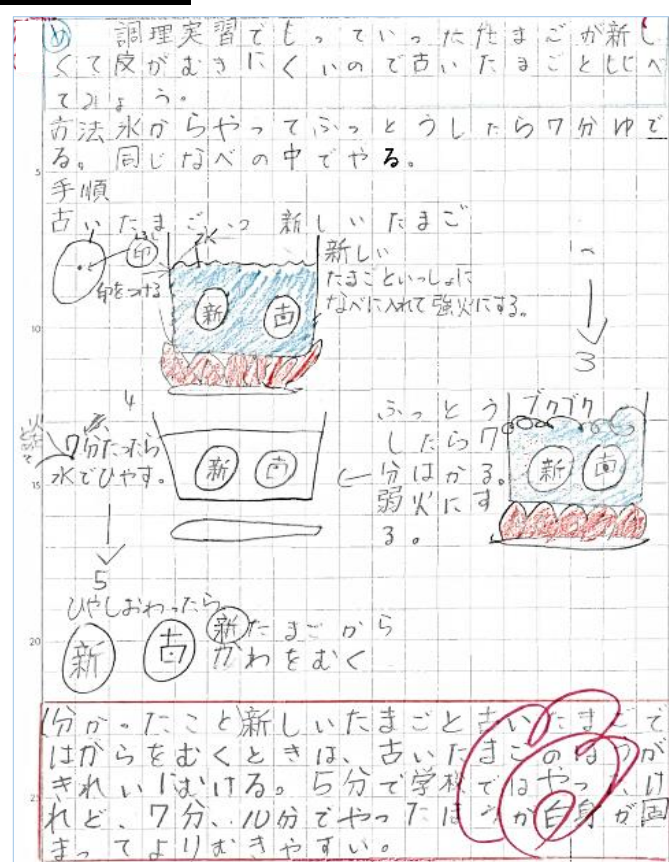
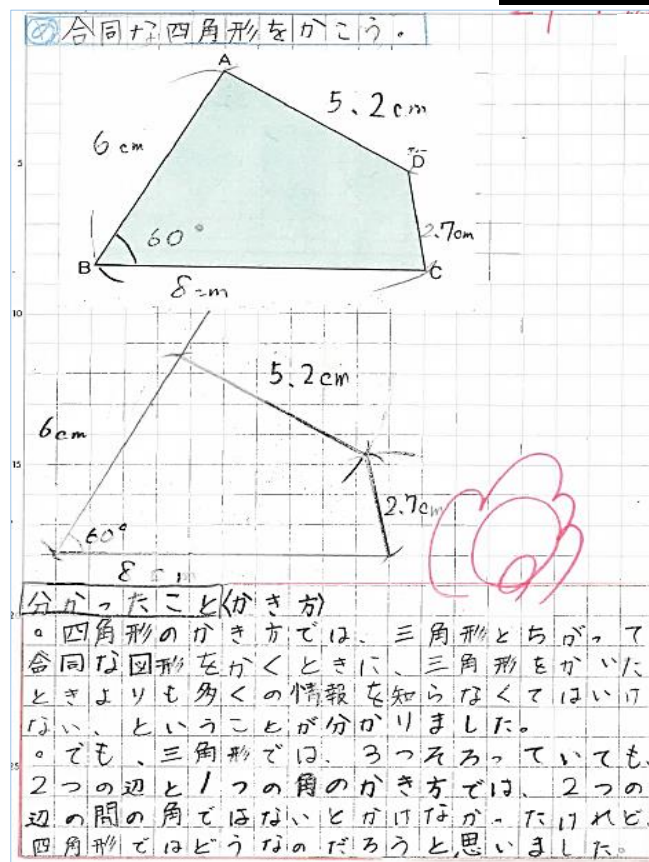
<https://homework-recipe.com>

「何に取り組んだらいいかわからない。」という子に、参考になるかもしれません。他にも紹介されているサイトもあります。自主学習の充実につながると思います。

家庭学習
レシピ



小学校高学年の例

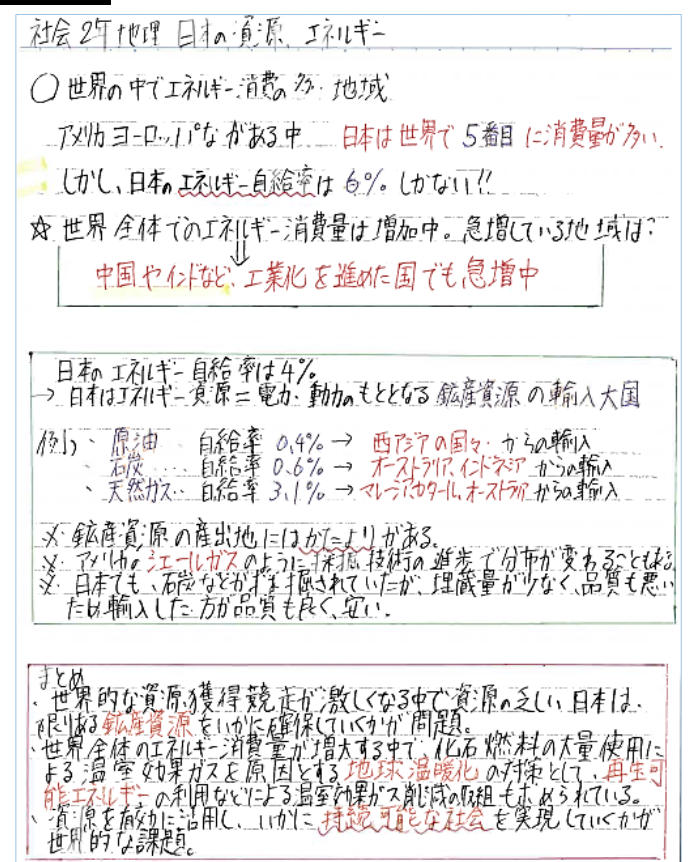
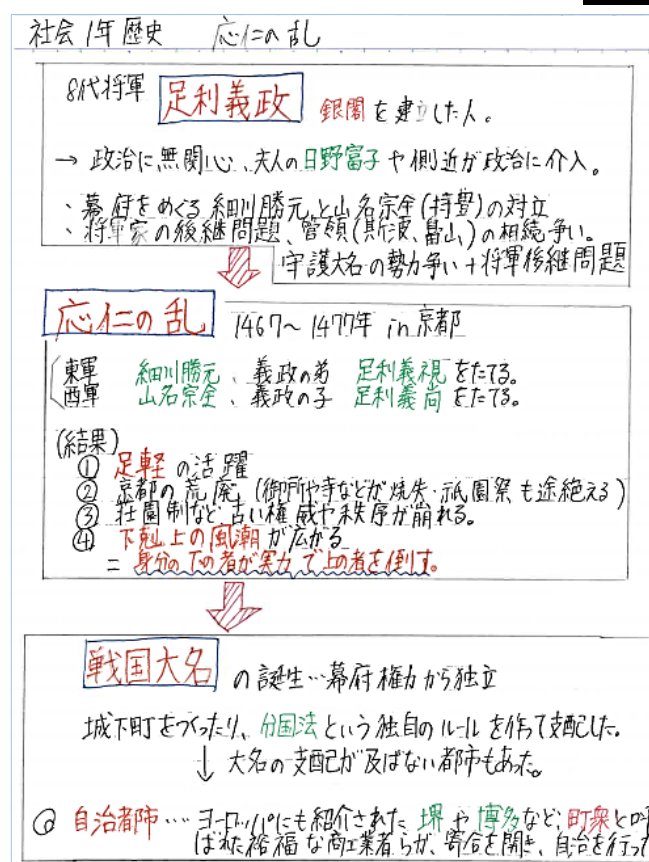


授業で学習したことから関心をひろげています。

めあてを書き、分かったこと気付いたことをまとめたり振り返ったりしています。

実生活と結び付けて考えたり、新たな課題を持ったりできると、学びにつながりが生まれます。

中学生の例



市で紹介した思考ツールの一つである、ステップチャートを使ってまとめています。

授業の内容を生活や身の回りのことと結び付けて考えるのもいいですね。

中学校では定期テストもありますが、日常からこのように学習を積み重ねることでテスト等にも活かせますね。

上に示したものは、あくまで「例」です。子どもの年齢、興味・関心などによって取り組み方は多様なものになります。

子どもたちは自主学習で、興味のあること、もっと学びたいこと、できるようになりたいことへの主体的取り組みを積み重ねることで楽しさや伸びを実感し、それが学びの広がりや深まりを生んでいくと考えます。子どもの「できるようになりたい」や「苦手をなんとかしたい」という気持ちを、学びにつなげていきたいですね。子どもが自分で考え、学びを振り返ることができるよう、学校と御家庭・地域とが力を合わせていきましょう。このリーフレットの内容をベースに、「家庭学習の手引き」などを発行している学園・学校もあります。それらも参考に御家庭で取り組み方を考えてみましょう。

<自主学習の主な例>

- ・授業内容の復習（確実に分かる・できるようになるための反復、授業内容のまとめ等）
- ・自分の興味・関心に基づく調べ学習
- ・次の授業の予習（中学生中心）
- ・漢字検定、算数検定、英語検定（自分で目標を決める）に向けた取り組み

ご家庭へのお願い

～お家の方の言葉がけで、子どもの学習意欲や興味・関心を高めることができます～

(1) 学習に向かう環境を整える

生活リズムを整える

早寝、早起き、朝ごはん
家庭学習に取り組む時間
テレビやゲームの時間は決めて



集中できる環境を整える

テレビやスマホはスイッチ OFF
安心して取り組める場所で



お母さんも、
テレビのスイッチを
切るからね。

(2) 積極的な子どもとのかかわりを

声掛けや見届けを

ほめる、認める、アドバイス
ふり返りを促す声かけ

これって、
どういうこと
かな？

共に体験をする

一緒に見る、調べる
一緒に体験する、活動する

また今度、
一緒に
やろうね。

すごい！
初めて
知ったよ！



やってみると、
おもしろいね。



「考える力」を育てるのに、学校だけでなく家庭学習でも取り組むのはなぜ？

袋井市では、「学校での学び」と「家庭での学び」が両輪となって、「考える力」を含めた子どもの学力が高まっていくと考えます。学校では、授業を中心に「みんなで」学び、意見を伝え合って考えを深めたり、学んだことを応用したりすることで学力を高めます。家庭学習は、自分のペースで学ぶことができます。宿題（与えられた課題）は、基礎的な知識や技能を高めます。自主学習（関心に応じた学習）ではこれに加え、自分が関心あることについて知識を広げたり、書くことで考えを表現する力を高めたりします。また、自ら学習に取り組もうという意欲を高めます。



保護者の方向けの動画コンテンツを、県教育委員会のページからご覧いただくことができます。

参照 静岡県教育委員会チア・アップコンテンツ(家庭学習編)動画

<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-060/contents.html>



袋井市の幼小中一貫教育が目指す子ども像

「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳」

お問い合わせ先 袋井市教育委員会 学校教育課 学力向上推進係

TEL : 0538-44-3172